

平成 24 年度 日本リハビリテーション医学会論文賞 選考結果のお知らせ

平成 24 年度論文賞選考委員会 担当理事 川平 和美
委員長 橋本 圭司
委員 伊佐地 隆, 菅本 一臣, 鈴木 康司
道免 和久, 中村 純人, 馬場 尊
原 寛美, 馬庭 壮吉, 渡邊 修

日本リハビリテーション医学会には論文賞の表彰制度があり, 論文賞選考内規 (学会誌 38 巻 211 頁, 2001 年) に基づいて, 毎年論文賞選考委員会を発足させ, 選考作業を行っております。

平成 23 年中の対象論文 7 編 (原著 6 編, 短報 1 編) に対し, 各選考委員がテーマの独創性・重要性, 研究・デザイン, データの提示, データの解釈, 論文の完成度の各項目について 3 段階で採点し, 採点結果を集計いたしました。平成 25 年 2 月 15 日に論文賞選考委員会を開催し, 最優秀論文賞, 優秀論文賞および奨励論文賞の各賞を選考しました。

選考結果は理事会に報告され, 承認を受けた上で, 平成 25 年 6 月 13 日の日本リハビリテーション医学会会員への報告会の場で, 理事長から受賞者に賞状ならびに目録が授与されました。受賞論文を下記にご報告いたします。

優れた研究成果を本誌にご投稿くださいました会員各位に心からお礼申し上げます。公平な選考が行われましたことをご報告いたしますとともに, 是非, 多くの投稿を今後も本誌にお寄せいただき, リハビリテーション医学の発展にご協力いただけますよう, お願い申し上げます。

◎最優秀論文賞: 細見 雅史 氏

細見雅史, 島田憲二, 松本憲二, 竹林 崇, 丸本浩平, 道免和久: Constraint-induced movement (CI 療法) の効果と効果予測因子—簡易上肢機能検査 (STEF) を用いた多数例による検討—。Jpn J Rehabil Med 2012; 49: 23-30

◎優秀論文賞: 鶴見 一恵 氏

鶴見一恵, 伊佐地隆, 大仲功一: 頸髄損傷患者の自宅退院に影響する因子の多面的分析。Jpn J Rehabil Med 2012; 49: 726-733

◎奨励論文賞: 相良 亜木子 氏

相良亜木子, 川上寿一, 中馬孝容, 新里修一, 道免和久: がん診療連携拠点病院からみるがんのリハビリテーションの課題。Jpn J Rehabil Med 2012; 49: 313-320

◎優秀論文賞次点: 大沢 愛子 氏

大沢愛子, 前島伸一郎, 棚橋紀夫: 脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血後の言語性記憶の特徴。Jpn J Rehabil Med 2012; 49: 625-630

◎奨励論文賞次点: 井口 はるひ 氏

井口はるひ, 山本敏之, 小林庸子, 櫻井とし子, 大矢 寧, 芳賀信彦: 筋疾患患者の自動車運転に関する調査—自動車運転の継続を希望する筋疾患患者に対する評価項目の検討—。Jpn J Rehabil Med 2012; 49: 909-915